

小野高等学校 68回生 修学旅行

鼓太鼓の作り方

修学旅行の2日目・3日目に与論の方々に教えていただく「エイサー」そして、4日目に行う「エイサー発表会」で使用する太鼓を各自で作成してもらいます。本物の牛の皮を使い、本物の鼓太鼓を作ります。素人の太鼓作りは・・・「あせらずに時間をかけて丁寧に」・・・技術のない分、十分な手間と時間をかける事が大切です。各自で試行錯誤しながら工夫してみてください。あれこれ考えながらやるのが、また1つの楽しみ方です。

苦労して作った鼓太鼓を使って踊るエイサーは、今回の修学旅行の最大の思い出となるはずですが、そんなエイサーへの思いをはせながら、じっくりと太鼓作りに取り組んでください。

材料・・・牛革2枚、リング2本、塩ビ管(胴)1個、カッティングシート(赤)1枚、バチ1本、取っ手1本、紐(赤)4m2本・3m1本・2m2本

道具・・・彫刻刀(丸刀)またはパンチ、厚い物が切れるはさみ、ゴム通しまたはヘアピン、サンドペーパー、マジックペン(ただし、マジックペンでは跡が残るので、各自工夫してもよい。)

●リング革の作り方(作業時間1～2時間:一気にやってしまう必要がある)



- 革はそのままでは硬いので、2～3時間くらい水につけておき柔らかくする。



- リングの外側から3cmくらい大きく切り取る。(輪郭の形を整える)
- 革の中央にリングを置き、外側にペンなどで印をつける。
- 穴あけの印を、革の周囲から5mmぐらいの位置に16個つける。
(注1) あまり革の端に穴を開けると、紐で縛るときに破れてしまう。
(注2) 16個の穴あけの印は、均等間隔でつける。
(注3) 2枚必要になるので、同時進行で作成していく。
(注4) ツルツルしている方を外側にする。

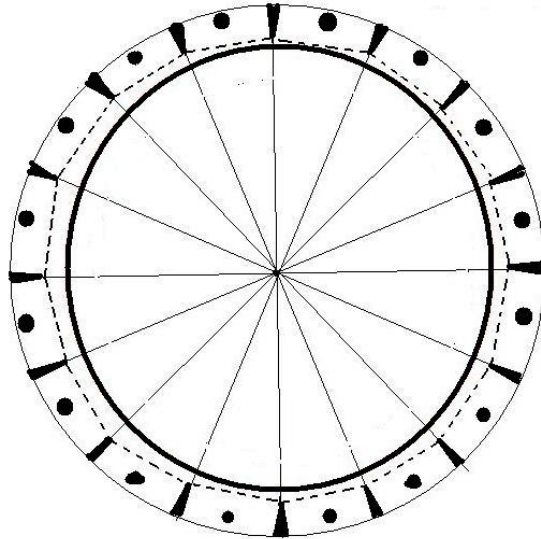


- 彫刻刀(丸刀)またはパンチで穴を開ける。直径3～4mmぐらい。
(注1) 下に新聞紙などを敷いておく。
(注2) 穴があまりに小さいと紐を通すのに力が必要になる。また、大きいと破れる恐れがある。



- 穴を開けた中間あたりに、はさみで切り込みを入れる。
- (注) リングの線を越えないように。

ここまでの完成図 ⇒



- クリップやヘアピンを紐通しとして使用し、紐(赤)4mを通していく。
- 紐の通し方は、まず1つに通し、次に5つ目の穴に通す。内側から通した方が通しやすい。
- 以後、4つとばしで紐を通していく。
- 全部紐を通したら、紐の片方の端を縛る。縛ったところから少しずつ締め上げていく。



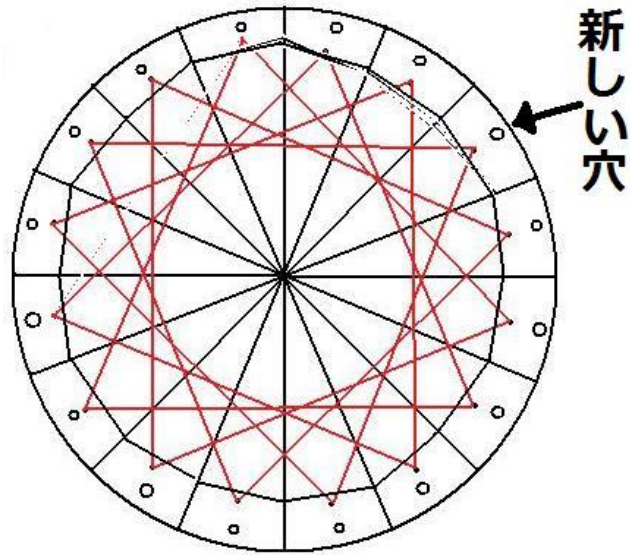
- リングが曲がらないように気をつけながら、できるだけきつく締め上げる。
- あまり革が張れていないように感じても大丈夫。革が乾燥すればピンピンになる。

(注1) いきなりきつく締め上げると、リングがずれたり、曲がる恐れあり。

(注2) すぐに叩いて音を確認してみたい気持ちはわかるが、革が十分に乾くまで我慢。



- 次に、縫いつけを行う。
 - 最初にあけた16個の穴の間、リングのすぐ内側に16個の穴を開け、紐で縫いつけていく。
 - 折り返して2枚になっているので、2枚とも穴を開ける。
- (注1) 革が柔らかいうちに穴を開ける。乾くと硬くなってしまう。
- (注2) 少し大きめの穴(直径5mmぐらい)の方が後で紐を通しやすい。



- 本返し縫い(下図参照)で紐(赤)2mを通していく。
 - まず全部に紐を通した後、2枚の革が密着するように締め上げる。
- (注) 革に対して直角になるように紐を引っ張るとより効果あり。

横から見た図↓



- 革が乾燥したら、革を張るために通していた紐(赤)4mをははず。

●胴の作り方（作業時間10～20分）

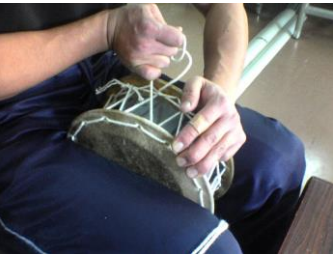


- 塩ビ管の革が当たる部分のエッジを、サンドペーパーで面取りする。
 - 塩ビ管の側面に、カッティングシートを貼る。
 - シートがはみ出たところは、カッターでカットしておく。
- （注）シートを貼るときには、できるだけ空気が入らないようにする。

●組み立て（作業時間1～2時間）



- リング革2枚で胴を挟み込む。（革がしっかり乾燥しているか確認する。）



- 鼓太鼓にするため、本返し縫いで通している紐がクロスしているところに、紐(赤)4mをジグザクに通していく。

- 革を張っていた紐を使う。先にゴム通しまたはヘアピンをつけていると作業しやすい。

- すべて通したら、締め上げていく。

- だんだん強く締めていく。リングを思い切り引き寄せるように。

（注）かなり強烈に締めないといけない。この締め方が、いい音が鳴るかどうかの分かれ道となる。女子はだれか男の人にやってもらった方がいいかもしれない。



- 中央を飾り紐(赤)4mで巻き、更に締め上げる。

- 最後に、取っ手をリングの端に固定するように紐(赤)3mでくくりつける。

（注）リングと接する部分を削っておくと固定しやすい。



• 完成！！

●太鼓のばち

- 持つ部分にテーピングしておくとし持ちやすくなるし、まめがでにくくなる。
- 先端はヤスリで磨き丸くしておく（角ばっていると太鼓の皮を破る恐れあり）。